

東京都立晴海総合高等学校 キャリアカウンセラー通信

海風

No 3
2022年2月28日
令和3年度 第3号

東京都立晴海総合高等学校 〒104-0053 東京都中央区晴海 1-2-1 電話：03-3531-5021
<http://www.harumisogo-h.metro.tokyo.jp/site/zen/> 発行人：桜井 伸一

「大学へ進学する理由は？」

突然ですが、下記の表の数字は何を表していると思いますか。正解は、国別の大学進学者率上位5か国の進学率と日本の進学率を示した表です。日本の大学進学率は64.10%で全体では49位です。この数字は先進国の中でも低水準とされています。

No 3の内容

- 1 大学へ進学する理由は？
- 2 総合学科の歩き方
- 3 図書館が立派な上級学校を選ぼう

みなさんは表の数字に違和感を覚えますか。そうです、各国の大学進学率が100%を超えています。つまり数字上は全国民が1回以上大学へ進学しているということですが、実際にはそうではないようです。ではなぜ、このような統計結果が出るのでしょうか。下記の表のように大学進学率が高い国では、自身の専門性を高めることを目的に、社会人として働きながら大学に通い、大学で学んだものを今の仕事や転職などに活かすという学び方が一般的で、そのため1人が複数回大学へ入学することもめずらしくないとのこと。

参考資料

「世界の大学進学率 国別ランキング・推移」

Global Note



「文部大学入試情報
提供サイト」
文部科学省



日本では、高校卒業後にすぐに大学へ進学するという、いわゆる入学適齢年齢での大学進学が圧倒的に多い状況です。この理由として、「就職を有利にしたい」という目的で大学へ進学する人が大半であることがよく挙げられます。特に日本の文系学部において、他国に比べて大学院進学率が顕著に低いことがこの根拠だと指摘されます。確かに日本においては、高校卒より大学卒を採用する傾向や、大卒の中でも出身大学の偏差値やブランドなどで入社試験の合否を決める企業が見受けられます。こうした状況について、「日本の大学はまるで就職予備校」と揶揄（やゆ）されることがあります。あらゆる分野でグローバル化が進み、世界との競争で勝たなくては生き残れないという課題に日本が直面していますが、同時にグローバル社会で活躍できる優秀な人材を十分に育てられていないのではないかとこの悩みを日本は抱えています。これらを改善するために、大学が変わらなくてはいけないという意見が多方面から出され、近年話題となっている大学入試制度改革が進められました。「どこの学校を卒業したか」ではなく、「何を学んだのか」、「何が身についたのか」、「何ができるようになったのか」を大切にするよう、企業、大学、高校、そしてみなさんに「意識の変革」を求めているのです。そこには、一人一人が生涯にわたり自ら学び続ける力が養われることへの期待が込められています。

1位	ギリシャ	148.53%
2位	オーストラリア	115.95%
3位	トルコ	115.04%
4位	マカオ	113.09%
5位	グレナダ	104.56%
49位	日本	64.10%

「世界の大学進学率 国別ランキング 2020」資料
提供：Global Note
出典・参照：UNESCO（<http://uis.unesco.org/>）

参考資料

「総合学科について」

文部科学省

「2つの重要な非認知能力
『自制心』と『GRIT』」

「総合学科の歩き方」

総合学科高校は、約30年前に今日のような変化の激しい時代を見越して、生涯にわたって自ら学び続ける力を養うことを目的に誕生しました。コンセプトは、多様性が最大限尊重された環境の中で、多種多様な学びを提供する学校です。総合学科である晴海総合は、生涯にわたりことある事に自己のキャリアを再考できる素地をつくる「産業社会と人間」、中学校や普通科高校では学べないさまざまな分野の「多彩な選択科目」を学ぶことで自己の視野を広げ、興味・関心のある物事を自ら探究する姿勢を養う「課題研究」を教育の柱としてきました。みなさんには、晴海での学びに対して、GRIT（グリット）の姿勢をもって日々の学習に取り組んでもらいたいです。GRITとは、「Guts（度胸）困難なことに立ち向かう」、「Resilience（復元力）失敗しても諦めずに続ける」、「Initiative（自発性）自分で目標を見据える」、「Tenacity（執念）最後までやり遂げる」という4つの要素の総称です。GRITを続け様々な経験を積むことで、自己の内面に多様性が生まれ、他者を受容する姿勢や、自己の生き方や進路についても柔軟な発想ができるようになると思っています。

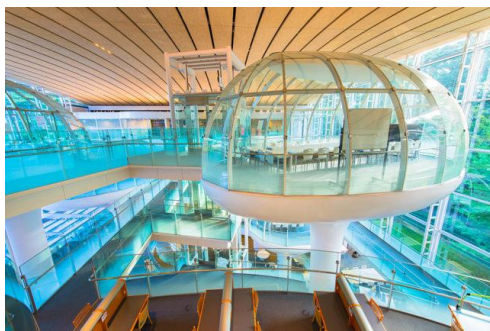
「図書館が充実した上級学校を選ぼう」

大学を比較検討する際、付属の図書館を比較することをお勧めします

大学図書館は、大学の先生や学生の研究をサポートする目的で設置されていて、一般的な図書館と比べて蔵書数が多く内容が専門的である点の特徴です。さらに、大学のこれまでの研究成果や歴史に関する貴重な資料が収集されていることがあり、これらを一般公開する大学もあります。このようなことから大学図書館は、「大学教育の心臓部」と言われることがあります。専門学校も同様で、図書室の整備に力を入れている学校は教育に力を入れていると捉えることができ、専門学校を判断するうえで一つの参考になると思います。



日本工学院専門学校図書室



成蹊大学図書館



国際教養大学図書館



東京経済大学図書館

★キャリアカウンセラーへの相談をお待ちしています★

登校日の昼休みおよび放課後に、**2階ガイダンスセンター**でお待ちしています。不在の場合は、**5階商業科・情報科職員室**を尋ねてください。